



15-2. 土砂災害防止月間全国大会開催地及び標語

令和7年6月現在

運動のテーマ：みんなで防ごう土砂災害

回数	年度	開催日	開催地	標語等
第1回	昭和58年度	S58.6.7 (火)	長崎県長崎市	雨降れば地ゆるむ
第2回	昭和59年度	S59.6.1 (金)	島根県浜田市	防ぐ対策逃げる勇氣
第3回	昭和60年度	S60.6.4 (火)	長野県木曾福島町	雨に気くばり、大地に目くばり
第4回	昭和61年度	S61.6.4 (水)	滋賀県大津市	大雨は土砂災害の危険信号です
第5回	昭和62年度	S62.6.9 (火)	北海道虻田町	大雨降ったら早めに避難
第6回	昭和63年度	S63.6.14 (火)	兵庫県神戸市	ストップザ・土砂災害
第7回	平成元年度	H1.6.14 (水)	高知県高知市	明日を創造する砂防
第8回	平成2年度	H2.6.13 (水)	群馬県前橋市	砂防は自然の命を守ります
第9回	平成3年度	H3.6.12 (水)	岐阜県岐阜市	大雨降ったら裏山注意
第10回	平成4年度	H4.6.9 (火)	富山県富山市	土砂災害防いで明るい街づくり
第11回	平成5年度	H5.6.15 (火)	福島県福島市	土砂災害防ぐ人の輪地域の輪
第12回	平成6年度	H6.6.7 (火)	広島県広島市	見逃すな！小さなくずれも赤信号
第13回	平成7年度	H7.6.5 (月)	大分県別府市	見て聞いておぼえておこう危険箇所
第14回	平成8年度	H8.6.3 (月)	兵庫県神戸市	豪雨地震その度恐い土砂崩れ
第15回	平成9年度	H9.6.2 (月)	大阪府吹田市	危ないでゆるい地盤に気いつけや
第16回	平成10年度	H10.6.1 (月)	新潟県糸魚川市	蒲原沢土石流災害に学ぶ －砂防工事の安全対策－
第17回	平成11年度	H11.6.3 (木)	富山県富山市	－いつ何が起ころかわからんちゃー 山くずれ、土砂くずれ、家くずれ
第18回	平成12年度	H12.6.1 (木)	栃木県宇都宮市	いのちを守る緑・いのちを育む緑
第19回	平成13年度	H13.6.7 (木)	鳥取県倉吉市	備えあれば患(うれ)い無し －21世紀の土砂災害と危機管理－
第20回	平成14年度	H14.6.6 (木)	岐阜県岐阜市	知らせる努力と知る努力 －土砂災害とIT防災－
第21回	平成15年度	H15.6.4 (水)	静岡県静岡市	くらしのなかの土砂災害防止 －地域、歴史、文化につちかわれた自主防災活動－
第22回	平成16年度	H16.6.2 (水)	愛媛県松山市	－しまなみ・まちなみ・つながり活かす身近な 防災－
第23回	平成17年度	H17.6.1 (水)	鹿児島県鹿児島市	土砂災害みんなの力で早めの避難
第24回	平成18年度	H18.6.1 (木)	秋田県秋田市	お年寄り早めの呼びかけ一緒に避難
第25回	平成19年度	H19.6.6 (水)	石川県金沢市	備えよう。明日は我が地域土砂災害。
第26回	平成20年度	H20.6.4 (水)	長野県松本市	砂防の歴史と今、そして明日
第27回	平成21年度	H21.6.2 (火)	山梨県甲府市	人は石垣、人は城 －「風林火山」の防災－
第28回	平成22年度	H22.6.9 (水)	広島県広島市	三矢の訓で防ぐ土砂災害 －立ち向かい、賢く住まい、躊躇せず避難する
第29回	平成23年度	H23.6.5 (日)	中止(宮城県栗原市)	
第30回	平成24年度	H24.6.6 (水)	長崎県長崎市	居安思危(安きに居りて危うきを思う) ～7.23長崎豪雨災害から30年～
第31回	平成25年度	H25.6.5 (水)	島根県松江市	漸に杜ぎ、萌に防ぐ(ぜんにふさぎ、ぼうにふせぐ) ～30年前の警告は「未来への備え」～
第32回	平成26年度	H26.6.5 (木)	熊本県熊本市	土砂災害の激甚化に備える 命を守る土砂災害対策
第33回	平成27年度	H27.6.4 (木)	山形県山形市	～さくらんぼ県で考えるこれからのSABO(砂防)～
第34回	平成28年度	H28.6.21 (火)	岡山県岡山市	忘れていない？晴れの国おかやまのリスク ～いつかはくる！もんげー土砂災害～
第35回	平成29年度	H29.6.1 (木)	愛知県豊田市	見つめよう！伝えよう！砂防の歴史 ～こつり愛知で考える明日への土砂災害対策
第36回	平成30年度	H30.6.6 (水)	徳島県徳島市	土砂災害を迎え撃ち、助かる命を必ず助けるために！ ～過疎化・高齢化を見据え「土砂災害対策」を考える～
第37回	令和元年度	R1.6.6 (木)	神奈川県横須賀市	怖いのは地震だけ？恐ろしい土砂災害 ～“いのち”を守るあなたの行動～
第38回	令和2年度	R2.6.3 (水)	中止(福岡県福岡市)	
第39回	令和3年度	R3.8.30 (月)	中止(和歌山県田辺市)	
第40回	令和4年度	R4.6.1 (水)	和歌山県田辺市	強くしなやかで美しい国土づくりを支える砂防 ～大災害からの復興と新たな挑戦～

回数	年度	開催日		開催地	標語等
第41回	令和5年度	R5. 6. 1	(木)	富山県富山市	治水分県・富山で考える土砂災害対策 ～立山の砂防120年とこれから～
第42回	令和6年度	R6. 6. 6	(木)	広島県広島市	繰り返される土砂災害との闘い ～土砂災害の歴史や社会情勢の変化を踏まえた 今後の取り組みを考える～
第43回	令和7年度	R7. 6. 10	(火)	宮城県仙台市	平成20年岩手・宮城内陸地震、令和元年東日本 台風 2つの土砂災害を経験した宮城県より ～複合災害（大規模地震災害後の豪雨災害）に 備える～

注：標語はポスター等に使用されたものであり、平成5年度から平成9年度については、平成4年度より平成7年度まで、(社)全国治水砂防協会主催で実施された「標語コンテスト」の作品から選定している。

15-3. 雪崩防災週間シンポジウム等全国大会開催地

令和7年3月現在

年度	日時	開催地	開催テーマ
平成元年度	平成元年12月1日	ニューオータニ長岡NCホール	—
平成2年度	平成2年12月3日～4日	青森厚生年金会館 (青森県青森市)	豊かで安全な雪国をめざして
平成3年度	平成3年12月2日～3日	福井フェニックスプラザ (福井県福井市)	豊かで安全な雪国をめざして
平成4年度	平成4年12月2日～3日	ホテル長野国際会館 (長野県長野市)	豊かで安全な雪国をめざして ～雪とふるさとそしてロマン～
平成5年度	平成5年12月6日～7日	パレプラン高志会館 (富山県富山市)	豊かで安全な雪国をめざして ～いけ！いけ！富山雪にアタック～
平成6年度	平成6年12月6日～7日	秋田ビューホテル (秋田県秋田市)	豊かで安全な雪国をめざして ～今考える！雪の秋田とわが故郷～
平成7年度	平成7年12月4日～5日	高山市民文化会館大ホール (岐阜県高山市)	やすらぎのある雪国の文化と暮らし
平成8年度	平成8年12月2日～3日	山形市中央公民館 (山形県山形市)	やすらぎのある豊かで安全な雪国をめざして
平成9年度	平成10年1月27日～28日	金沢市文化ホール (石川県金沢市)	雪を活かしたまちづくり
平成10年度	平成11年1月28日～29日	會津風雅堂 (福島県会津若松市)	雪国を支える人々 ～ともに考え、ともに生きる～
平成11年度	平成12年1月27日～28日	水上町観光会館 (群馬県利根郡水上町)	自然の恵みを守り、安全を支える
平成12年度	平成13年2月1日～2日	横田町コミュニティーセンター (島根県仁多郡横田町)	神話の里(ふるさと)の雪は美しくも激しく
平成13年度	平成14年1月25日	ゆだ文化創造館「銀河ホール」	地域で守る地域の命
平成14年度	平成15年2月6日～7日	はごろもホール (滋賀県伊香郡余呉町)	湖国(ふるさと)の雪・くらしとまちづくり
平成15年度	平成16年1月29日～30日	朱鷺メッセ (新潟県新潟市)	トキ(冬季)のくに、雪ものがたり2004 —安全が支える豊かな雪国の暮らし—
平成16年度	平成17年1月27日～28日	小樽市民センター「マリンホール」 (北海道小樽市)	北の歴史そして未来
平成17年度	平成18年1月26日～27日	ウイング21 (長野県白馬村)	次代へつなげる新しい雪国づくり
平成18年度	平成19年2月1日～2日	豊岡市民プラザ (兵庫県豊岡市)	減災をめざした安全安心な雪国づくり
平成19年度	平成20年1月31日～1日	福野文化創造センター「ヘリオス」 (富山県南砺市)	雪に強い、安全で魅力ある地域づくり
平成20年度	平成21年1月29日～30日	北秋田市文化会館 (秋田県北秋田市)	“伝承と創造”中山間地域の防災と雪国のくらし
平成21年度	平成22年1月28日～29日	日光市藤原総合文化会館 (栃木県日光市)	雪と共にある国際観光地 ～地域の安全とブランドを守るために～
平成22年度	平成22年12月3日	岐阜県図書館多目的ホール (岐阜県岐阜市)	—

年 度	日 時	開 催 地	開 催 テ ー マ
平成23年度	平成23年12月6日	くにびきメッセ (島根県松江市)	—
平成24年度	平成24年12月4日	勤労者福社会館「臨湖」 (滋賀県長浜市)	—
平成25年度	平成25年12月11日	飯山市公民館 (長野県飯山市)	—
平成26年度	平成27年1月16日	石川県庁 (石川県金沢市)	—
平成27年度	平成28年1月13日	会津大学講堂 (福島県会津若松市)	—
平成28年度	平成29年1月16日	アピオあおもり (青森県青森市)	—
平成29年度	平成30年1月17日	山形県生涯学習センター遊学 館	—
平成30年度	平成31年1月15日	アオーレ長岡 (新潟県長岡市)	—
令和元年度	令和2年1月15日	高山市公民館大会議室 (岐阜県高山市)	—
令和2年度	中止	—	—
令和3年度	令和4年1月11日	新潟県庁 (WEB開催)	—
令和4年度	令和4年12月22日	アピオあおもり (青森県青森市)	—
	令和6年1月16日	秋田県庁 (秋田県秋田市)	—
令和5年度	令和7年1月15日	山形県生涯学習センター 遊学館 (山形県山形市)	—

※平成22年度より、雪崩災害防止功労者表彰式と(独)土木研究所の雪崩災害防止セミナーを共催。
 ※令和3年度より、雪崩災害防止セミナーは全国地すべりがけ崩れ対策協議会主催。

15-4. 火山砂防フォーラム実施状況

令和7年3月現在

開催回数	開催年月日	開催場所	開催者 (委員長)	テーマ	参加人数 (人)	見学会
第1回	平成3年8月 7～8日	ホテル桜井 (群馬県草津市)	孀恋村長 森田哲次郎	火山地域の安全で豊かな暮らしのために	400	浅間山周辺
第2回	平成4年8月 26～27日	鹿児島市民ホール (鹿児島県鹿児島市)	鹿児島市長 赤崎 義則	火山を知り、火山と共に生きる	700	桜島
第3回	平成5年8月 25～26日	国立大雪青年の家 (北海道美瑛町)	美瑛町長 水上 博	火山を知り、火山と共に生きる －火山とまちの調和をめざして－	645	十勝岳火山砂防情報センター他
第4回	平成6年8月 4～5日	島原文化会館 (長崎県島原市)	島原市長 吉岡庭二郎	火山を知り、火山と共に生きる －火山とまちの調和をめざして－	1,000	島原市/雲仙・普賢岳周辺
第5回	平成7年9月 7～8日		安曇村長 有馬 佳明	火山を知り、火山と共に生きる －火山との共生と安全対策－	384	上高地、燃岳
第6回	平成8年8月 29～30日	上山市体育文化センター (山形県上山市)	上山市長 永田 亀昭	火山を知り、火山と共に生きる －静かな時は何をすべきなのか？－	731	蔵王周辺及び山形市内
第7回	平成9年8月 29～30日	湯元富士屋ホテル (神奈川県箱根町)	箱根町長 小川 欣一	火山を知り、火山と共に生きる －僕らの山は天下の嶮－	824	箱根周辺
第8回	平成10年8月 27～28日	函館大沼プリンスホテル (北海道七重町)	七重町長 水嶋 清	火山を知り、火山と共に生きる －北海道の火山対策－	694	北海道駒ヶ岳周辺
第9回	平成11年10月 19～25日	ホリデーインリゾート・クラーク フィールド (フィリピン・アンヘレス市)	島原市長 吉岡庭二郎	火山を知り、火山と共に生きる －火山災害への取り組みと火山を活かしたまちづくり－	200	ピナツボ火山、タール火山、マヨン火山周辺
第10回	平成12年11月17・18 日	島原復興アリーナ (長崎県島原市)	島原市長 吉岡庭二郎	火山を知り、火山と共に生きる －火山地域の新世紀にむけて－	2,000	雲仙・普賢岳周辺
第11回	平成13年11月 11～13日	東京都庁内大会議室 (東京都新宿区) 大島町開発総合センター大集会室 (東京都大島町)	大島町長 藤井 静男	火山を知り、火山と共に生きる －火山国日本における様々な取組の現状－	200	大島町・三原山周辺
第12回	平成14年10月 28～29日	洞爺湖文化センター(北海道虻田 町)	虻田町長 長崎 良夫	火山を知り、火山と共に生きる －有珠山の噴火から復興までと“次”への課題－	465	有珠山周辺
第13回	平成15年10月 7～8日	上室村観光会館 (岐阜県上室村)	上室村長 小池 強	火山を知り、火山と共に生きる －調べてみました、ふるさとの山 燃岳－	360	燃岳周辺
第14回	平成16年9月30日～	西根町総合運動公園体育館 (岩手県西根町)	西根町長 工藤 勝治	火山を知り、火山と共に生きる －火山地域における連携－	370	台風により中止
第15回	平成17年10月 13～14日	富士宮市民文化会館 (静岡県富士宮市)	富士宮市長 小室 直義	火山を知り、火山と共に生きる －広域連携を踏まえた火山防災－	742	富士山周辺

開催回数	開催年月日	開催場所	開催者 (委員長)	テーマ	参加人数 (人)	見学会
第16回	平成18年11月 9～10日	三宅村立阿古小学校体育館 (東京都三宅村)	三宅村長 平野 祐康	火山を知り、火山と共に生きる ー三宅島民帰島を契機に、火山災害対策を 考えるー	240	三宅島内
第17回	平成19年10月 25～26日	都城市総合文化ホール (宮崎県都城市)	都城市長 長峯 誠	火山を知り、火山と共に生きる ー火山防災マップと地域連携ー	650	霧島山周辺
第18回	平成20年10月 30～31日	糸魚川市民会館 (新潟県糸魚川市)	糸魚川市長 米田 徹	火山を知り、火山と共に生きる ー火山地域の防災力向上に向けてー	700	新潟燃山周辺
第19回	平成21年10月 29～30日	鹿児島市民文化ホール (鹿児島県鹿児島市)	鹿児島市長 森 博幸	火山を知り、火山と共に生きる ー火山地域の振興と火山噴火対策ー	650	桜島
第20回	平成22年10月 14～16日	嬭恋村立西中学校 (群馬県嬭恋村)	嬭恋村長 熊川 栄	火山を知り、火山と共に生きる ー安全で活力あふれる火山地域づくりー	350	浅間山周辺
第21回	平成23年10月 13～14日	美瑛町町民センター (北海道美瑛町)	美瑛町長 浜田 哲	火山を知り、火山と共に生きる ー魅力あふれる十勝岳山麓のためにー	450	十勝岳周辺
第22回	平成24年10月 18～19日	仙北市民会館 (秋田県仙北市)	仙北市長 門脇 光浩	火山を知り、火山と共に生きる ー災害経験の少ない活火山における火山噴 火対策ー	700	秋田駒ヶ岳周辺
第23回	平成25年11月 25～26日	裏磐梯ロイヤルホテル (福島県北塩原村)	北塩原村長 小椋 敏一	火山を知り、火山と共に生きる ー地域一帯で火山噴火に備えるためにー	330	磐梯山周辺
第24回	平成26年11月 6～7日	富士吉田市民会館 ふじさんホー ル	富士吉田市長 堀内 茂	火山を知り、火山と共に生きる ー世界遺産富士山と火山噴火対策ー	840	富士山周辺
第25回	平成27年10月 29～30日	阿蘇市阿蘇体育館 (熊本県阿蘇市)	阿蘇市長 佐藤 義興	火山を知り、火山と共に生きる ー阿蘇世界ジオパークの防災を考えるー	500	阿蘇山周辺
第26回	平成28年10月 20～21日	木曾文化公園文化ホール (長野県木曾町)	木曾町長 原 久仁男	火山を知り、火山と共に生きる ～火山噴火対応の教訓を踏まえて、安全で 魅力ある地域づくりを実現しよう！～	600	御嶽山周辺
第27回	平成29年10月 26～27日	苫小牧市民会館 大ホール (北海道苫小牧市)	苫小牧市長 岩倉 博文	火山を知り、火山と共に生きる ～知っておこう！考えておこう！樽前山の 火山防災～	900	樽前山周辺
第28回	平成30年11月 1～2日	鹿児島市民文化ホール 大ホール (鹿児島県鹿児島市)	鹿児島市長 森 博幸	火山を知り、火山と共に生きる ～活ける火山との共生を図る地域に学ぶ～	800	桜島周辺
第29回	令和元年10月 17～18日 (延期) 令和2年5月21～22日 (開催中止)	蔵王町ふるさと文化会館 ござい んホール (宮城県蔵王町)	蔵王町長 村上 英人	火山を知り、火山と共に生きる ～活火山蔵王山との新たなつきあい方～	中止	中止
第30回	令和2年9月24～25日 (延期) 令和3年12月 16日	嬭恋村立嬭恋中学校 体育館 (群馬県嬭恋村)	嬭恋村長 熊川 栄	火山を知り、火山と共に生きる ～地域の防災力を高めて、明日に備える～	340	中止

開催回数	開催年月日	開催場所	開催者 (委員長)	テーマ	参加人数 (人)	見学会
第31回	令和4年10月 13～14日	蔵王町ふるさと文化会館 ござい んホール	蔵王町長 村上 英人	火山を知り、火山と共に生きる ～蔵王にございん！安心してお越しただ ける地域を目指して～	420	蔵王山周辺
第32回	令和5年10月 19～20日	雫石町中央公民館 野菊ホール	雫石町長 猿子 恵久	火山を知り、火山と共に生きる ～魅力ある故郷の山 岩手山 雫石町から～	500	岩手山周辺
第33回	令和6年10月 24～25日	島原市有明総合文化会館	島原市長 古川 隆三郎	火山を知り、火山と共に生きる 『雲仙・普賢岳 ～火山地域の未来に向け て～』	550	島原市周辺

15-5. キャンプ砂防実施状況

令和7年3月現在

回数	年 度	開催箇所数 (箇所)	参 加 内 訳				参加人数 (人)
			大学院生	大 学 生	高 専 生	高 校 生	
第1回	平成8	2	3	10	0	0	13
第2回	9	1	2	4	0	0	6
第3回	10	28	6	76	7	7	96
第4回	11	28	12	87	5	8	112
第5回	12	29	7	109	7	6	129
第6回	13	28	13	87	0	0	100
第7回	14	29	19	154	7	0	180
第8回	15	29	23	130	0	0	153
第9回	16	30	17	86	0	0	103
第10回	17	30	17	112	0	0	129
第11回	18	32	10	126	0	0	136
第12回	19	31	17	107	0	0	124
第13回	20	27	13	69	1	0	83
第14回	21	30	14	67	0	0	81
第15回	22	32	6	70	0	0	76
第16回	23	31	6	82	0	0	88
第17回	24	32	7	67	0	0	74
第18回	25	30	5	66	0	0	71
第19回	26	30	6	68	0	0	74
第20回	27	29	4	56	0	0	60
第21回	28	23	6	67	0	0	73
第22回	29	18	6	60	0	0	66
第23回	30	21	7	60	0	0	67
第24回	令和元	17	5	51	0	0	56
- ※1	2	-	2	29	0	0	31
- ※1	3	-	3	31	0	0	34
第25回 ※2	4	18	9	39	0	0	48
第26回	5	20	7	49	0	0	56
第27回	6	20	11	46	3	0	60
第28回	7	20	8	50	1	0	59

※1：令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となり、代わりに「砂防Webフォーラム」を開催。

※2：キャンプ砂防2022と併せて「砂防Webフォーラム」を開催（5大学より7名が参加）。

15-6. 地すべりフォーラム実施状況

令和7年3月現在

回数	フォーラム名	テーマ	日時
第1回	地すべりフォーラムinTONEGAWA	地すべりとの共存	平成7年11月9日
第2回	地すべりフォーラム'97	地すべりとまちづくり	平成9年9月25日
第3回	地すべりフォーラム'99	ゆったりとゆとりのある時間が流れる地域をめざして	平成11年11月12日
第4回	地すべりフォーラム2000、にしあいづ	流域の安全が支える地域の活力	平成12年10月19日
第5回	地すべりフォーラム2001in大鹿	地域の暮らしと情報化	平成13年10月18日
第6回	地すべりフォーラム2003in白山	暮らしを支える防災	平成15年9月26日
第7回	地すべりフォーラム2007in由比	「人々が行き交う街「由比」の暮らしを支える防災」	平成19年1月18日
第8回	月山地すべりフォーラム	月山と地区暮らし	平成21年10月26日

15-7. 砂防ボランティア

1. 経緯

「砂防ボランティア」は、平成7年1月17日兵庫県南部地震後の、六甲山麓で余震や降雨による二次災害が懸念されたため、緊急に短期間で土砂災害危険箇所の調査を行う必要性が生じ、全国に呼び掛け、学識経験者、建設省、地方公共団体、建設コンサルタント、約346名がチームを組み緊急調査を実施したことが契機となって翌年から全国で組織され始めた。

その後、平成9年度土砂災害防止月間の全国大会（於：大阪府）において、砂防ボランティア元年宣言をすると共に、砂防ボランティア協会間で情報交換を行い、その後の活動を円滑かつ活発にする事を目的とする「砂防ボランティア全国連絡協議会」が発足した。なお、平成11年度土砂災害防止推進の集いに合わせ第1回「砂防ボランティア全国のつどい」（於：富山県）が開催され、現在まで毎年度開催されている。（平成23年度、令和2年度、令和3年度を除く）

近年の活動事例として、平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震では、鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会が県と連携して緊急点検を行い、二次災害防止に貢献した他、令和元年10月に発生した令和元年東日本台風（台風第19号）では、特定非営利活動法人長野県砂防ボランティア協会が県の要請を受け、緊急点検を行い、さらに二次災害防止に向けた応急対応の方向性等についての調査を実施した。これらの活動が評価され、「土砂災害防止功労者」として国土交通大臣から表彰された。

最近では、土砂災害時の点検調査の他、行政機関と連携を図り、防災訓練や住民への防災教育、土砂災害警戒区域等内にある災害時要援護者関連施設の管理者への避難指導、地区防災計画の策定に向けた支援などの分野にもその活動を広げてきている。

令和7年11月現在、70団体の砂防ボランティア協会等で会員6,294名となっている。

2. 砂防ボランティアの定義

砂防ボランティアとは、ボランティア精神に基づく「自発的」「無償的」「公共的」活動を通じて土砂災害防止に貢献する者であり、「土砂災害から地域住民を守るために、その意欲があり、また砂防に理解や知識のある人々のボランティア活動の総称」と定義することができる。

3. 砂防ボランティアの活動

- ・土砂災害に関する知識の一般の方々への普及、啓蒙活動
- ・溪流、地盤等に生じる土砂災害発生に関連する平常時、災害時の変状の発見及び行政への連絡
- ・土砂災害時の被災者の援助活動
- ・土砂災害時の障害者、高齢者等への援助活動
- ・砂防教育支援活動
- ・その他、土砂災害防止に役立つ活動全般

これらの砂防ボランティアの活動が評価され、「土砂災害防止推進の集い」において、熊本県砂防ボランティア協会（平成 26 年）、青森県砂防ボランティア協会、石川県砂防ボランティア協会、最上川・赤川水系砂防ボランティア協会（平成 27 年度）、長野県砂防ボランティア協会、岡山県砂防ボランティア協会、砂防ボランティア広島県協会、愛媛県砂防ボランティア協会、佐賀県防災・砂防ボランティア協会（平成 28 年度）、鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会（平成 29 年度）、京都府砂防ボランティア協会、特定非営利活動法人 大分県砂防ボランティア協会、特定非営利活動法人 神通砂防、四国山地砂防ボランティア協会（平成 30 年度）、神奈川県砂防ボランティア協会、特定非営利活動法人 兵庫県砂防ボランティア協会（令和元年度）、砂防ボランティア岩手県協会、岐阜県砂防ボランティア協会（令和 2 年度）、特定非営利活動法人 長野県砂防ボランティア協会（令和 3 年度）が土砂災害防止功労者として国土交通大臣から表彰されている。

4. 砂防ボランティア元年宣言文

私たちの住む日本。がけ崩れや土石流などの土砂災害の多い国です。

砂防ボランティアは、土砂災害から自分の身を守るとともに、培った知識と経験を活かし、人々の安全の確保に役立ちたいと考えています。

安全で心安らかな生活づくりを標榜し、この大阪の地に集った私たち一同、ここに砂防ボランティア元年を宣言いたします。

平成 9 年 6 月 3 日

6. 砂防ボランティア全国連絡協議会

砂防ボランティア全国連絡協議会は、各砂防ボランティア協会相互間の連絡、情報交換を行い、砂防ボランティアの活動を円滑に実施することを目的として、平成 9 年 6 月 2 日に設立された。本会は、各砂防ボランティア協会を構成団体とし、事務局は（一財）砂防ボランティア整備推進機構に置かれている。

活動内容は、

- ・砂防ボランティア協会活動の連絡・調整
- ・斜面判定士の認定
- ・その他、本会の目的を達成するために必要な活動

である。

また、春、秋、年 2 回の協議会の会議を開催し、活動状況の情報交換等を行うとともに、毎年 6 月に行われる「土砂災害防止「全国の集い」」の連携行事として「砂防ボランティア全国をつどい」を開催している。

協議会は、砂防ボランティア活動及び砂防ボランティア団体の運営発展に関して顕著な功労があり、他の模範として推奨に値すると認められる個人に対して、平成 25 年度から「砂防ボランティア活動等功労者表彰」を実施している。

7. 砂防ボランティア基金

砂防関係のボランティア活動を実施する団体又は個人（砂防ボランティア活動を実施する団体と連携）が実施する様々な活動に対して、助成等を行うことを目的とし、平成12年度に設立され、令和5年度現在では以下の助成事業を行っている。

- ・ 砂防ボランティア活動を実施する団体又は個人が、土砂災害被災地域において実施するボランティア活動に対する助成
- ・ 砂防ボランティア活動を実施する団体又は個人が実施する模範的な研究会、講習会等に対する助成

「砂防ボランティア基金」運営事務局は、平成12年度から平成21年度までは特定非営利活動法人砂防広報センターに置かれていたが、平成22年度より、（一財）砂防フロンティア整備推進機構に置かれている。

8. 斜面判定士

土砂災害の危険箇所を日常または災害時に監視・点検するためには、砂防技術に対して一定の知識と経験を有する者であることが望まれ、以下の要件を満たす者を斜面判定士として認定している。

- ①斜面判定士は、砂防ボランティア構成員のうち、一定以上の砂防技術を持つもの（概ね砂防関係5年以上の経験者）とし、原則として砂防ボランティア団体の長が推薦し、砂防ボランティア全国連絡協議会長が認定を行い、砂防ボランティア団体で斜面判定士として登録された者。
- ②斜面判定士として認定される者は、原則として砂防ボランティア団体に属するもので、土砂災害防止に関する講習会（各地域の砂防ボランティア団体が主催）を受講した者、もしくは受講者と同等以上の技術力を持つと砂防ボランティア団体の長が判断するもの。

15-8. 砂防ボランティア協会等設立状況

令和7年3月現在

団 体 名	会 員 数 (名)	斜面判定 士数	設 立 年 月 日	NPO法人取得年月日
北海道砂防ボランティア協会	64	0	平成10年3月13日	—
青森県砂防ボランティア協会	82	44	平成9年5月20日	—
砂防ボランティア岩手県協会	99	66	平成9年5月26日	—
宮城県砂防ボランティア協会	124	117	平成8年12月17日	—
特定非営利活動法人 秋田県砂防ボランティア協会	66	66	平成9年3月18日	平成17年6月23日
山形県砂防ボランティア協会	94	66	平成9年5月8日	—
福島県砂防ボランティア協会	106	105	平成9年2月27日	—
栃木県砂防ボランティア協会	50	37	平成9年6月26日	—
群馬県砂防ボランティア協会	107	40	平成9年5月27日	—
彩の国砂防ボランティア協会(SSVA)	102	28	平成10年6月15日	—
特定非営利活動法人 防災千葉	225	138	平成10年8月26日	平成14年6月25日
東京都砂防ボランティア協会	70	0	平成11年5月28日	—
神奈川県砂防ボランティア協会	115	51	平成9年3月24日	—
特定非営利活動法人 新潟県砂防ボランティア協会	156	70	平成8年11月29日	平成14年10月17日
特定非営利活動法人 富山県砂防ボランティア協会	85	54	平成8年12月24日	平成14年10月17日
石川県砂防ボランティア協会	99	60	平成9年5月15日	—
福井県砂防ボランティア協会	113	78	平成8年10月7日	—
山梨県砂防ボランティア協会	89	74	平成9年2月24日	—
特定非営利活動法人 長野県砂防ボランティア協会	495	388	平成8年11月19日	平成31年4月19日
岐阜県砂防ボランティア協会	81	75	平成9年1月14日	—
静岡県砂防ボランティア協会	70	32	平成8年12月6日	—
愛知県砂防ボランティア協会	45	36	平成8年12月24日	—
三重砂防ボランティア協会	50	8	平成9年3月21日	—
滋賀県砂防ボランティア協会	58	32	平成9年3月19日	—
京都府砂防ボランティア協会	100	47	平成9年5月22日	—
特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会	70	50	平成8年9月17日	平成15年3月10日
特定非営利活動法人 兵庫県砂防ボランティア協会	96	53	平成9年1月18日	平成19年11月20日
奈良県砂防ボランティア協会	141	70	平成9年4月1日	—
和歌山県砂防ボランティア協会	83	24	平成8年4月26日	—
鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会	119	46	平成24年6月1日	—
島根県砂防ボランティア協会	175	52	平成8年12月2日	—
岡山県砂防ボランティア協会	92	76	平成8年9月1日	—
砂防ボランティア広島県協会	90	20	平成8年6月5日	—
特定非営利活動法人 山口県防災・砂防ボランティア協会	413	96	平成8年11月8日	平成16年5月14日
徳島県砂防ボランティア協会	31	4	平成9年6月28日	—
香川県砂防ボランティア協会	53	20	平成9年5月12日	—
愛媛県砂防ボランティア協会	149	114	平成9年7月25日	—
高知県砂防ボランティア協会	50	47	平成8年11月18日	—
福岡県砂防ボランティア協会	67	23	平成9年2月24日	—
佐賀県防災・砂防ボランティア協会	83	49	平成9年4月15日	—
特定非営利活動法人 長崎県治水砂防ボランティア協会	102	56	平成8年7月12日	平成14年8月20日
熊本県砂防ボランティア協会	169	104	平成9年7月7日	—
特定非営利活動法人 大分県砂防ボランティア協会	59	59	平成8年9月5日	平成14年6月24日
宮崎県砂防ボランティア協会	102	15	平成9年3月25日	—
特定非営利活動法人 鹿児島砂防ボランティア協会	195	155	平成9年5月19日	平成17年4月1日
最上川・赤川水系砂防ボランティア協会(MASV)	31	31	平成11年2月10日	—
日光砂防ボランティア協会	24	18	平成9年3月19日	—
渡良瀬川砂防ボランティア協会	14	5	平成9年5月20日	—
利根川水系砂防ボランティア協会	29	16	平成8年9月1日	—
湯沢砂防スペシャルエンジニア(Y SSE)	15	8	平成9年5月30日	—
立山・神通砂防スペシャルエンジニア(TJSSE)	36	33	平成25年7月23日	—
飯豊山系砂防スペシャルエンジニア(ISSE)	19	11	平成9年10月22日	—
松本砂防スペシャルエンジニア(MSSE)	14	14	平成7年12月21日	—
多治見さぼう・みちボランティアクラブ	59	6	平成10年6月29日	—
越美山系砂防ボランティア協会(ESV)	29	9	平成9年10月1日	—
富士山砂防ボランティア協会	39	15	平成11年11月17日	—
四国山地砂防ボランティア協会(SVA)	70	49	平成10年5月15日	—
阿賀野川砂防スペシャルエンジニア(ASSE)	23	8	平成9年10月7日	—
白山砂防スペシャルエンジニア(HSSE)	7	7	平成27年3月11日	—
特定非営利活動法人 ネパール治水砂防技術交流会	101	4	平成5年7月19日	平成12年11月15日
特定非営利活動法人 利賀山川まもる	32	0	平成16年10月5日	平成17年1月5日

団 体 名	会 員 数 (名)	斜 面 判 定 士 数	設 立 年 月 日	NPO 法 人 取 得 年 月 日
特定非営利活動法人 神通砂防	412	0	平成17年2月15日	平成17年2月16日
特定非営利活動法人 湯沢砂防	40	0	平成19年10月11日	平成19年10月11日
特定非営利活動法人 梓川流域を守る会	285	0	平成18年7月11日	平成18年11月6日
特定非営利活動法人 白山麓地域安全ネットワーク	23	0	平成17年10月22日	平成17年10月22日
えいほうSABO	79	0	平成24年6月29日	—
北東北地域砂防研究会	14	0	平成24年6月29日	—
アルプス圏域砂防研究会	13	0	平成25年6月3日	—
三重SABO	10	0	平成25年6月5日	—
北海道SABO研究会	18	0	平成30年10月1日	—
砂防ボランティア活動支援研究会	20	1	平成21年7月1日	—
全 体	6,540名	3,080名		